

厚木基地騒音対策協議会と左藤防衛大臣政務官の面談について

本日、左藤防衛大臣政務官が神奈川県庁を訪問し、厚木基地騒音対策協議会（会長：黒岩祐治神奈川県知事）構成県市※に対し、空母艦載機の移駐の遅延及び岩国飛行場における施設整備の進捗状況等について説明がありましたので、お知らせします。

1 説明日

2013年1月24日（木）14:00～14:30

2 説明者

左藤^{さとう}章^{あきら} 防衛大臣政務官

3 出席者

厚木基地騒音対策協議会構成県市※の知事、市長等

※ 厚木基地騒音対策協議会構成県市：

町田市、神奈川県、横浜市、相模原市、藤沢市、茅ヶ崎市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市

4 説明要旨

- 2006年のロードマップにおいて、厚木飛行場から岩国飛行場への空母艦載機の移駐は、2014年までに完了するとされている。
- 空母艦載機の岩国飛行場への移駐に伴い必要となる家族住宅等を建設するための用地（愛宕山用地）については、昨年3月に買収したが、これを受け、日米間で施設整備の全体工程を見直した結果、現時点において、空母艦載機の岩国飛行場への移駐が可能となる時期については、2017年頃になる見込みとなった。
- 厚木飛行場は、人口が過密した市街地に所在し、同飛行場周辺住民の方々には、航空機騒音を始めとする様々な負担をおかけしていることは、十分に承知しており、防衛省としては、引き続き、空母艦載機の移駐について、可能な限り早期に、かつ、着実に進めるための努力を行っていく。
- また、厚木飛行場周辺住民の方々への負担を可能な限り軽減できるよう、引き続き、米側に対し、飛行場周辺の騒音を軽減するための配慮を求めるとともに、住宅防音工事等の各種周辺対策に努めてまいりたい。
- 空母艦載機の移駐等に伴い必要となる家族住宅の建設計画の変更の結果、岩国飛行場内で既存の施設を移設整備し、その跡地に家族住宅等を整備するという大規模な玉突き工事が必要となった。

- 施設整備の進捗状況については、
 - ・ 岩国飛行場内に整備する施設として、誘導路、駐機場、格納庫、洗機場、家族住宅、学校といったものがあり、今後整備すべきものとしては、家族住宅、学校、病院が主な施設となる。
 - ・ 愛宕山地区においては、現在、基本検討を実施しており、今後、家族住宅、運動施設等の工事等を実施する。

5 自治体側の発言要旨

- これまで政府は、自治体に対し、2006年5月の在日米軍再編協議において日米間で合意された、2014年までの移駐を目指していると繰り返し発言してきた。こうした中で、突然の移駐遅延の説明に、そうですか、仕方ないですねと言える状況ではない。
- 2014年までには、まだ2年ある。改めて、2014年までの移駐について、最大限努力していただきたい。
- やむを得ず遅れるとしても最小限の遅れに止めるよう、しっかりと進捗管理して欲しい。
- 今後、進捗状況等の情報提供、意見交換を行うための方策を早急に講じていただきたい。
- 1日でも早く移駐を完了させることに全力で取り組むとともに、移駐完了までの間も、騒音軽減に向けた措置を講じるよう強く求める。
- 昨年2月には米軍機による部品落下事故、同年5月には3日間に及ぶ艦載機着陸訓練があり、移駐の延期は納得できない。